

今日から 参加できる！ OSS開発

結城洋志
株式会社クリアコード

軽く自己紹介

✓ 結城洋志 aka Piro

✓ Firefox用拡張機能

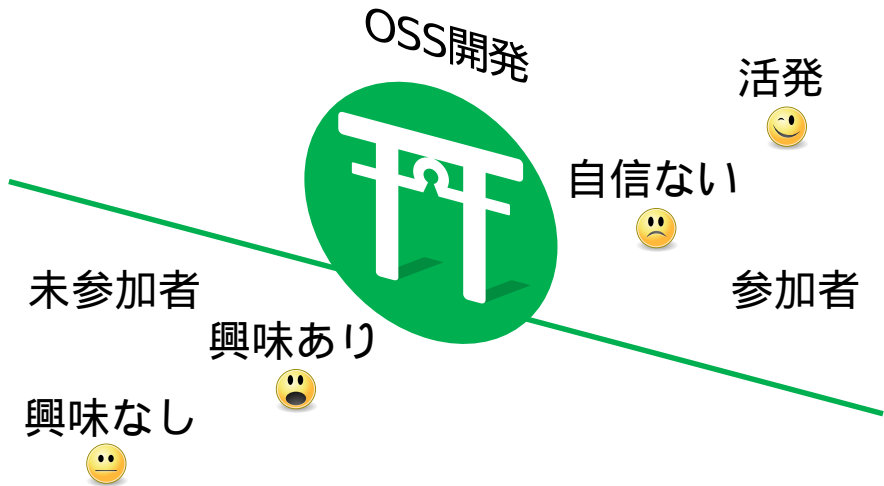
✓ Tree Style Tabなど

✓ Firefoxにも何度か バグ報告やパッチ提供

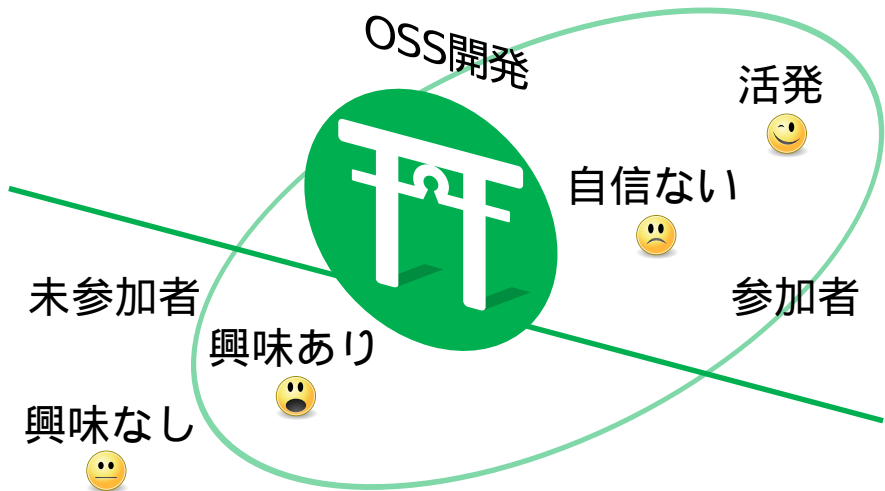
✓ OSS開発に関わる人を 増やす取り組み「OSS Gate」 でワークショップ開催



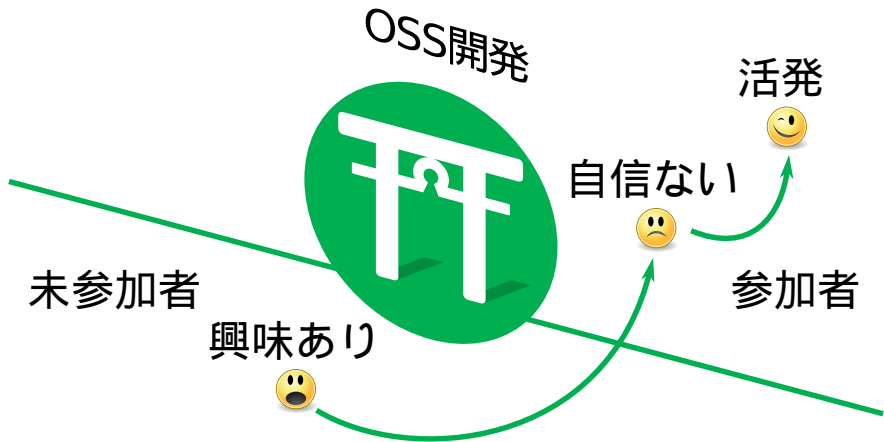
OSSの世界には断絶がある！



ワークショップの対象者層



ワークショップでやること



本日のアジェンダ

- ✓ オープンソースって何？
- ✓ 何が嬉しい？
- ✓ どう関わるの？
- ✓ 実際に関わってみる！

Part 1

オープンソース
スって何？

ワークショップで思うこと

みんな、**オープンソース**のことを
案外知らない

(ワークショップ参加者でも)

参加者に聞いてみたイメージ (OSSってどんな物?)

- ✓ LinuxカーネルやRedmine、Railsなど**大規模・高機能**な物
- ✓ MetaのReactのように**先進的な大企業**が作る物
- ✓ 自分のような**一般人には縁遠い**世界

参加者に聞いてみたイメージ (OSS開発者ってどんな 人?)

- ✓ 非常に高い技術力を持つ上級者
- ✓ 聖人のように利他的な意識の高い人達
- ✓ 自分のような一般人には縁遠い世界

そんなことはない！

- ✓ すごい物**も**ある
- ✓ すごい人**も**いる
- ✓ すごくない**ふつうの**物や
ふつうの人の方がたぶん多い

そもそも

「オープンソース」という言葉の正確な意味が知られていない

「オープンソース」の定義

- ✓ オープンソースライセンス
opensource.org/licenses/
が設定されたソフトウェアは
なんでもオープンソース
- ✓ GPL 3.0、MIT License、
BSD License、
Apache License 2.0...
- ✓ 「すごい」かどうかは関係ない
- ✓ 開発体制がオープンかどうかも無関係

「すごくはない」物の方が数は多い

- ✓ 「文字列の先頭を空白で埋める」50行未満のライブラリー
 - ✓ github.com/left-pad/left-pad
- ✓ 「常識的に考えて危険すぎ」な仕様が何年もスルー
 - ✓ Log4j2のLog4Shell（発覚まで8年）
- ✓ ツギハギだらけのスパゲッティコード

「ふつうの人」達

- ✓ 成り行きで関わってしまった人
- ✓ 仕事の都合で関わらざるを得ない人
- ✓ 関わり続けるうちにすごくなる場合はある

多くのOSSの実態は

- ✓ すごくはないけど、ありがたい
- ✓ 様々な人が、自分に無理なく持ち寄れる範囲で持ち寄ってる
- ✓ 関われそうな気がしてきませんか？

Part 2

オープンソース
に関わると何が
嬉しい？

1. 直近のメリット

不満を自分で解
消できる

クローズドなソフトウェア は……

- ✓ 会社に入らないと開発に関われない
- ✓ 意見が開発者まで届かない
- ✓ 自分で改造することもできない

オープンソースだと

- ✓ 誰でも開発に関われる
 - ✓ 学生でも無職でも
- ✓ 意見を開発者に届けられる
 - ✓ (受け入れられるとは限らない)
- ✓ 自分で改造もできる
 - ✓ 改造版を配ることもできる

大げさに言えば

- ✓ 今すぐ「世界を変えられる」
 - ✓ 楽しい！
- ✓ 確実に「何かが良くなる」
 - ✓ やりがい

2. 中期的なメリット

ポートフォリオ
になる

クローズドな会社での開発は……

- ✓ 転職時に実績として見せにくい
 - ✓ 「これ、自分がやりました」と言えない
- ✓ 過去の仕事の成果を使い回せない
 - ✓ 「前の会社でも同じことを実装したのに、またゼロからやるのか……」

オープンソースだと

- ✓ 実績として見せやすい
 - ✓ 信頼度の高い証拠になる
- ✓ 成果を使い回せる
 - ✓ ライブラリとして、モジュール単位で、あるいは派生版として

3. 長期的なメリット

恩返し・恩送り

自分もお世話になってきた

- ✓ 今やOSSを使わずに生活するのは難しい
- ✓ 毎日お世話になっている
- ✓ 自分もそこに加われる

自分の後にも続く人が出る (かも)

- ✓ 実装が引き継がれたり
- ✓ コードが参考にされたり

Part 3

どうオープン
ソースに関われ
る？

初学者の人が感じがちなハードル

- ✓ 「自分には何も無いんで……」
- ✓ 「自分はただ使うことしかできないんで……」
- ✓ そう思っているあなたにも**持ち寄れる物**がある！

それは

- ✓ 「ふつうのユーザー」の視点
- ✓ 「初心者ユーザー」の視点

どうということ？

- ✓ OSS作者の感覚
 - ✓ 自分（達）が使うために作った
 - ✓ ついでに他の人も使えるよう公開
- ✓ 他の人（達）が使いやすいようにはなっていないことがある

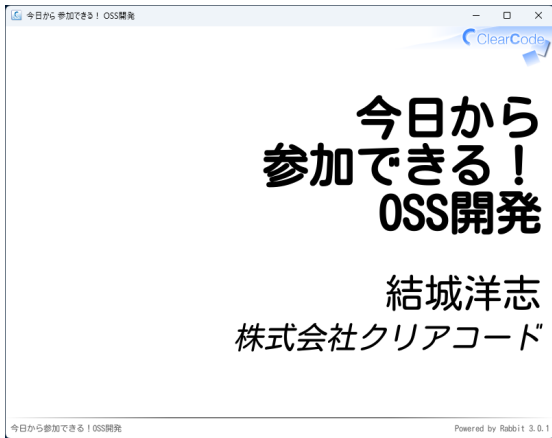
よくある話

- ✓ 使い方の説明が無い
 - ✓ 作者の知識とユーザーの知識に差がある
- ✓ 必要な前提条件や前準備の情報が無い
 - ✓ 作者の環境が特殊であることを作者自身が忘れている

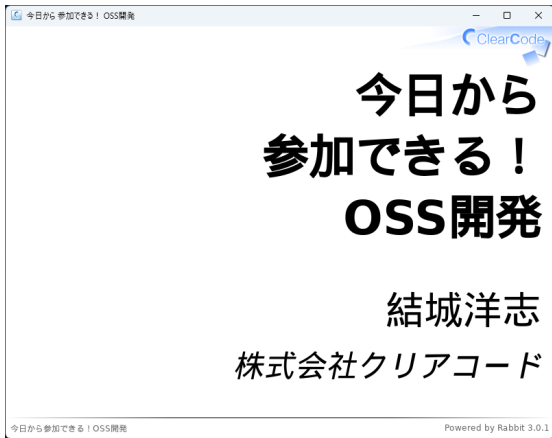
実例

このプレゼン資料のこと

テーマ「clear-code」本来の 表示



自分の環境で表示した時の見え方



原因（後で分かった）

- ✓ フォントが未インストール
 - ✓ 自分でインストールする必要があった
- ✓ 作者の常用OS（Debian）と違う環境（Ubuntu on WSL on Windows 10）
 - ✓ 作者環境で動く書き方が自分の環境では機能していなかった

ユーザーとしてよく取る行動

- ✓ Webを検索して解決策を探す
- ✓ ユーザーフォーラムで質問する
- ✓ 無事解決した……（一安心）
- ✓ ブログにでも書いところ

そこでもう一歩！

OSS開発
プロジェクトへ
フィードバック
してみよう！

色々なフィードバックの仕方

- ✓ 不具合を報告する
- ✓ 原因を調べて明らかにする
- ✓ 修正のプルリクエストを送る
- ✓ **自分にできる所まででいい**

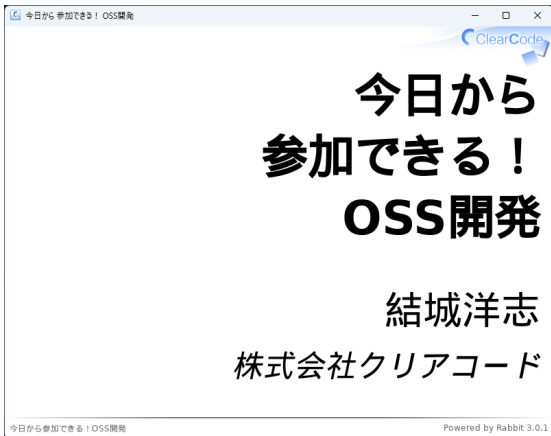
ためらう人は多い

- ✓ こんなしょうもないこと、報告したら怒られないかな……
- ✓ 「自分で直せ」って突き放されないかな……

本当に「しょうもない」のか？

- ✓ 確実に1人（=自分）は困っている
- ✓ 「自分だけの問題」とは限らない

さっきのフォントの問題



問題の捉え方を変える！

- ✓ 自分1人が今まさに困っている
自分1人のために解決してほしい！
- ✓ → 同じことで困っている人が
他にもいるかも
- ✓ → プロジェクトの課題として
みんなのために解決
できるのでは？

プロジェクトの課題と考える

- ✓ フォントが未インストール
 - ✓ 「何々フォントが必要」という説明はどこにも無かった
 - ✓ 説明があれば迷う人が減るのでは？
- ✓ 作者の常用OS (Debian) と違う環境 (Ubuntu on WSL on Windows 10)
 - ✓ Debian専用というわけではない
 - ✓ UbuntuでもWindowsでも使えた方が便利では？

プロジェクトで解決すると

- ✓ 今後同じ事での問い合わせが減る
- ✓ **作者自身も**環境移行時などに助かる

実際にしたフィードバック

- ✓ フォントのインストールを促す
説明文をREADMEに追加
github.com/clear-code/rabbit-theme-clear-code/pull/2
- ✓ Ubuntuでフォント指定が反映されない不具合を修正
github.com/clear-code/rabbit-theme-clear-code/pull/1

実際の提案内容

```
3 README.rd

@@ -18,6 +18,9 @@ The Rabbit theme for ClearCode Inc.

18 18
19 19     gem install rabbit-theme-clear-code
20 20
21 + And this theme depends on the font "Motoya L Maruberi" ("モトヤLマルベリ" in Japanese).
22 + You should install it for your platform, e.g. `sudo apt install fonts-motoya-
23 +     l-maruberi` on Ubuntu.
21 24     === Show
22 25
23 26     rabbit -t rabbit-theme-clear-code rabbit-theme-benchmark-en.gem
```

「自分で直せ」と怒られる？

- ✓ 公然と罵倒されるようなことはあまりない
 - ✓ 「初手罵倒は悪手」程度の社会性は大抵の人が持ってる
- ✓ 「手が足りないので」「方針に合わないので」と対応してもらえないことはある

「解決してもらえないなら負けじゃん……」

- ✓ 作者の意図は「解決に関わってもらえると嬉しいな！」
- ✓ 関われる**可能性が開かれている**

挑戦の機会にしてみよう

- ✓ 「自分でやってみたいのでアドバイスを」と聞いてみる
 - ✓ 案外気前よく教えてもらえるかも
- ✓ 不完全でもプルリクエストしてみる
 - ✓ アドバイスをもらえるかも
 - ✓ マージされなくても「派生版」として開発を継続していく道はある
 - ✓ その自由があるのが「オープンソース」

作者は基本的に孤独

- ✓ **お客さん気分**で来られると辛い
- ✓ 中間として課題の解決に**協力**してもらえると嬉しい

協力は自分にできる所まででいい (再掲)

```
3 README.rd
@@ -18,6 +18,9 @@ The Rabbit theme for ClearCode Inc.
18 18
19 19     gem install rabbit-theme-clear-code
20 20
21 + And this theme depends on the font "Motoya L Maruberi" ("モトヤLマルベリ" in Japanese).
22 + You should install it for your platform, e.g. `sudo apt install fonts-motoya-
23 +     l-maruberi` on Ubuntu.
21 24     === Show
22 25
23 26     rabbit -t rabbit-theme-clear-code rabbit-theme-benchmark-en.gem
```

自分にできない部分は他の人の協力に任せる

- ✓ Ubuntu以外の環境は？
Arch Linuxではどうすれば？
- ✓ → Archユーザーの人が
書いてくれる事に期待
- ✓ 無理はしないでいい

話は分かった！ けど……

- ✓ 具体的にどうやればいいのか見当が付かない
- ✓ 一人でやるのは不安

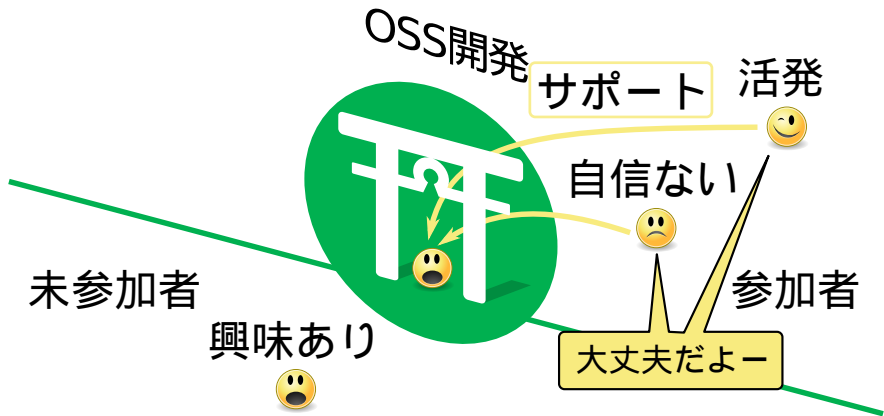
そこでワークショップ



体験して門をくぐる



よりくぐりやすく



参考書籍

これでできる！ はじめてのOSSフィードバックガイド

✓ オンデマンド印刷の紙版、電子書籍として購入可能

✓ 全文のソースを公開中

github.com/oss-gate

[/first-feedback-guidebook](https://github.com/oss-gate/first-feedback-guidebook)



株式会社クリアコード

- ✓ 自由なソフトウェアで持続的なビジネスを
- ✓ 法人のOSS利用者向けに、Tier2以上のサポートを有償で提供
- ✓ 案件の成果物をOSSとして公開
- ✓ 研修用にワークショップ開催
- ✓ www.clear-code.com